

バラの花びら問題について極限の考え方を使って考える

数学班: 内村 颯太郎、元川 介人

Abstract

We changed the conditions of the mathematical problem called the problem of rose petals , and made a proposition about the problem of shapes . After that , we prove this proposition by using the way of thinking about extremes .

要約

バラの花びら問題について条件を変更し、新しく得られた図形の問題について命題を立てる。この命題について極限の考えを用いて証明する。

1. はじめに

立てた命題とは、半径1の円に正三角形を内接させ、その正三角形に円を内接させ、その円に正方形を内接させ、その正方形に円を内接させ、その円に正五角形を内接させる。この作業を繰り返すと、内接円の半径は、どんどん小さくなっていくように思うが、0ではない正の値で収束することを示す問題である。

2. 研究手法

① n 番目の円の半径を R_n ($R_1 = 1$) とおき、 R_{n+1} を R_n で表し、 R_n の一般項を求める。

n 番目の円の半径と $(n + 1)$ 番目の円の半径が作る角の大きさは $\frac{\pi}{n+2}$ なので、

$$R_{n+1} = \cos\left(\frac{\pi}{n+2}\right) R_n$$

$$\therefore R_n = \cos\left(\frac{\pi}{n+1}\right) \times \cos\left(\frac{\pi}{n}\right) \times \dots \times \cos\left(\frac{\pi}{3}\right)$$

この式における n を無限に近づけたときの値が収束値であるが、これは直接計算不可能と判断した。そのため別の方法で収束値を求める必要がある。

② $0 \leq x \leq \frac{\pi}{3}$ において、 $\cos x$ より小さい関数を $f(x)$ とする。すなわち

$$R_n = \cos\left(\frac{\pi}{n+1}\right) \times \cos\left(\frac{\pi}{n}\right) \times \dots \times \cos\left(\frac{\pi}{3}\right) \geq f\left(\frac{\pi}{3}\right) \times f\left(\frac{\pi}{4}\right) \times \dots \times f\left(\frac{\pi}{n+1}\right)$$

となる関数 $f(x)$ が 見つかったとする。この式の右边が0より大きい値に収束することを示すことにより、 R_n の収束値が0より大きいことを示すことができる。

3. 結果

1. $f(x) = 1 - \frac{2x}{\pi}$ とおく。

$f(x) = 1 - \frac{2x}{\pi}$ に $x = \frac{\pi}{3}$ から $x = \frac{\pi}{n+1}$ まで代入すると、

$$f\left(\frac{\pi}{3}\right) = \frac{1}{3}, f\left(\frac{\pi}{4}\right) = \frac{2}{4}, f\left(\frac{\pi}{5}\right) = \frac{3}{5}, \dots, f\left(\frac{\pi}{n+1}\right) = \frac{n-1}{n+1}$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} f\left(\frac{\pi}{3}\right) \times f\left(\frac{\pi}{4}\right) \times \dots \times f\left(\frac{\pi}{n+1}\right) = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{3} \times \frac{2}{4} \times \frac{3}{5} \times \dots \times \frac{n-1}{n+1}$$

$$= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1 \times 2}{n(n+1)} = 0$$

$\therefore R_n$ の収束値が0より大きいことは示すことができない。

2. $f(x) = 1 - \frac{x^2}{2}$ とおく。

$f(x) = 1 - \frac{x^2}{2}$ に $x = \frac{\pi}{3}$ から $x = \frac{\pi}{n+1}$ まで代入すると、

$$f\left(\frac{\pi}{3}\right) = 1 - \frac{\pi^2}{18}, f\left(\frac{\pi}{4}\right) = 1 - \frac{\pi^2}{32}, f\left(\frac{\pi}{5}\right) = 1 - \frac{\pi^2}{50}, \dots, f\left(\frac{\pi}{n+1}\right) = 1 - \frac{\pi^2}{2(n+1)^2}$$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} f\left(\frac{\pi}{3}\right) \times f\left(\frac{\pi}{4}\right) \times \dots \times f\left(\frac{\pi}{n+1}\right) = \lim_{n \rightarrow \infty} 1 - \frac{\pi^2}{18} \times 1 - \frac{\pi^2}{32} \times 1 - \frac{\pi^2}{50} \times \dots \times 1 - \frac{\pi^2}{2(n+1)^2}$$

これは計算不可能と判断した。

3. $f(x) = \sqrt{1 - \frac{16x^2}{\pi^2}}$ とおく。

$$0 \leq x \leq \frac{\pi}{5} \text{ において、} \cos x \geq \sqrt{1 - \frac{16x^2}{\pi^2}}$$

$f(x) = \sqrt{1 - \frac{16x^2}{\pi^2}}$ に $x = \frac{\pi}{3}$ から $x = \frac{\pi}{n+1}$ まで代入すると、

$$f\left(\frac{\pi}{3}\right) = \sqrt{1 - \frac{16}{5^2}}, f\left(\frac{\pi}{4}\right) = \sqrt{1 - \frac{16}{6^2}}, f\left(\frac{\pi}{5}\right) = \sqrt{1 - \frac{16}{7^2}}, \dots, f\left(\frac{\pi}{n+1}\right) = \sqrt{1 - \frac{16}{(n+1)^2}}$$

$$\text{ゆえに、} \lim_{n \rightarrow \infty} R_n \geq \cos \frac{\pi}{3} \times \cos \frac{\pi}{4} \times \lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt{1 - \frac{16}{5^2}} \times \sqrt{1 - \frac{16}{6^2}} \times \sqrt{1 - \frac{16}{7^2}} \times \dots \times \sqrt{1 - \frac{16}{(n+1)^2}}$$

$$= \frac{1}{2} \times \frac{1}{\sqrt{2}} \times \lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt{\frac{5^2 - 4^2}{5^2}} \times \sqrt{\frac{6^2 - 4^2}{6^2}} \times \sqrt{\frac{7^2 - 4^2}{7^2}} \times \dots \times \sqrt{\frac{(n+1)^2 - 4^2}{(n+1)^2}}$$

$$= \frac{1}{2} \times \frac{1}{\sqrt{2}} \times \lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt{\frac{1 \times 9}{5^2} \times \frac{2 \times 10}{6^2} \times \frac{3 \times 11}{7^2} \times \dots \times \frac{(n-3) \times (n+5)}{(n+1)^2}}$$

$$\text{計算すると、} \lim_{n \rightarrow \infty} R_n \geq \frac{1}{2} \times \frac{1}{\sqrt{2}} \times \lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt{\frac{n^4 + 14n^3 + 71n^2 + 154n + 120}{70(n^4 - 2n^3 - n^2 + 2n)}} = \frac{\sqrt{35}}{140}$$

$\therefore f(x)$ は 0 より大きい値に収束する。

ここで、 $f(x) = \sqrt{1 - \frac{16x^2}{\pi^2}}$ が $g(x) = \cos x$ よりも小さいことを示す。

$0 \leq x \leq \frac{\pi}{5}$ において $f(x)$ $g(x)$ とともに正なので 2 乗しても大小関係は変わらない。よって

$1 - \frac{16x^2}{\pi^2} \leq \cos^2 x$ を示せば良い。この式について変形を行うと

$\sin x \leq \frac{4}{\pi} x$ と変形でき $0 \leq x \leq \frac{\pi}{5}$ において $\sin x$ の最大値は $\sin \frac{\pi}{5} \doteq 0,588$

$\frac{4}{\pi} x$ の最大値は 0,8 よって $\sin x \leq \frac{4}{\pi} x$ は示され、

逆方向の変形を行うと $\sqrt{1 - \frac{16x^2}{\pi^2}} \leq \cos x$ が示される。

これにより $\cos x$ より小さい関数 $f(x)$ で 0 より大きい値に収束することを示すことができたと言えるので、証明することができた。

4. 結論

結果より R_n が 0 より大きい値で収束することがわかったので、命題を示すことができた。